

開催のご案内
第2弾

Innovative Weighing Solutions for a Sustainable World

| 計量が築く持続可能な世界 |

北九州国際会議場 2026年6月8日(月) - 10日(水)

■■■ 代表挨拶 ■■■

第2回 International Conference of Weighing を2026年6月に北九州にて開催できることを、大変光栄に存じます。本会議は、計量業界のプレゼンス向上、グローバルネットワークの構築、そして情報交換を目的とすると同時に、世界が直面する課題に対して計量が果たすべき役割を議論し、未来を共に築くための重要な機会です。

今日、世界各国は労働人口の減少や産業基盤の弱体化という深刻な課題に直面しています。さらに計量分野の人材不足も大きな課題です。一方で、計量計測は、公正な取引、製造現場、さらには科学技術や新エネルギーの発展を支える社会インフラとして、これまで以上に重要性を増しています。



初回大会ICW2023（ハンブルク開催）では、25ヶ国からNMI（国家計量標準機関）や企業の専門家など230人が集まり、計量業界におけるデジタル化について活発な議論が行われ、ネットワークの構築にも成功しました。ICW2026ではこれをさらに発展させ、学生や若手研究者のポスターセッション、産業展示の拡大、東南アジアからの参加促進、公開講座などを通じて、より多様で開かれたカンファレンスを目指します。

テーマは「**Innovative Weighing Solutions for a Sustainable World**」。

今回も、科学計量、産業計量、法定計量の三つの視点から、多様な知見を結集し、持続可能な未来を形づくる新しい計量の姿を議論します。

ICWは単なる情報交換の場ではありません。各国の意見、知恵、そしてビジョンを共有し、「未来を動かす」新しい協力場として、今後も発展していくことを願っています。

どうか北九州の地で、皆さまの知見と情熱を分かち合い、国や地域を超えた協力を築き、信頼できる計量計測業界の構築と、持続可能な社会の発展に向けて、ご参加お願いいたします。

（一社）日本計量機器工業連合会／ICW2026国内実行委員会
委員長 田中 康之
株式会社田中衡機工業所 代表取締役社長
（一社）日本計量機器工業連合会 理事

■■■ 運営委員会 ■■■

（一社）日本計量機器工業連合会（計工連）
CWIA（中国衡器協会）
WIAA（オーストラリアはかり工業会）
CAFIPEM（アルゼンチン計量計測機器団体）
BIPM（国際度量衡局）

CECIP（欧州はかり工業会）
KASTO（韓国計量測定協会）
REMESP（ブラジル計量ネットワーク）
OIML（国際法定計量機関）

■■■ プログラム ■■■ (予定)

	6月8日(月曜日)	6月9日(火曜日)	6月10日(水曜日)
	受付	受付	受付
午前	基調講演	法定計量 科学計量 産業計量 休憩・ポスターセッション 法定計量 科学計量 産業計量	全体講演 ポスターセッション表彰式・ 閉会式
午後	昼食・ポスターセッション 法定計量 科学計量 産業計量 休憩・ポスターセッション 法定計量 科学計量 産業計量	昼食・ポスターセッション 全体講演（公開講座） 休憩・ポスターセッション 全体講演（公開講座）	昼食・テクニカルツアー
夜	ウェルカムレセプション	ガラディナー	

※基調講演及び全体講演は、同時通訳（日⇄英）が入ります。

※6月9日(火)の全体講演（公開講座）には、九州地方の理系学生及び計量計測関係者（メーカー、ユーザー、計量士等）の方々を無料でご招待いたします。（詳細は後日発表）

■■■ 講演一部紹介 ■■■ (2025年11月時点)

6月8日(月)



基調講演

“OIML: Enabling Innovation for a Sustainable Future”

（OIML：持続可能な未来のためのイノベーションの実現）

Dr. Bob Joseph Mathew

CIML委員長

METAS（スイス国家計量標準機関訪問）副所長

6月8日(月)

基調講演

「重力定数Gは宇宙を形作る－基礎物理定数の測定の歴史」

青山学院大学・神奈川大学・国際基督教大学・山形大学 非常勤講師／
立教大学 兼任講師／サイエンスライター 小谷 太郎 氏

— 概要 —

重力定数 $G=6.67430(15) \times 10^{-11} \text{ N m}^2/\text{kg}^2$ 。これは宇宙を今あるような姿に形作っている基礎物理定数の一つである。この値が異なるならば、宇宙の様相は一変し、天体や生命が存在していたかどうかも定かではない。Gはなぜこのような値なのか？ 重力はなぜ電磁気力などに比べて数十桁も弱いのか？ これは現代物理学の未解決問題である。18世紀末の重力測定実験に始まる、Gの探求の歴史について概観する。



6月9日(火) 14:05～14:45



全体講演（公開講座）

「サーキュラー・エコノミーが示す今後のものづくりの方向性」

東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 教授 梅田 靖 氏

— 概要 —

近年注目を浴びているサーキュラー・エコノミー(CE)は、再生資源を前提とした生産と、物量によらない価値提供の2つが柱になっている。これは、持続可能でない大量生産・大量消費社会から脱却した新しいものづくりの在り方へ移行するための有力な起爆剤と見るべきである。本講演では、以上の考え方を、CEの概要、循環プロバイダーを中心とした企業のエコシステム、製品ライフサイクル設計、ビジネスモデル、デジタル化などをキーワードに解説する。

6月9日(火) 14:45～15:45

全体講演（公開講座）

「Extreme Measurements and Gravitational Wave Astronomy」

（和訳：極限計測と重力波天文学）

東京大学 宇宙線研究所 卓越教授 梶田 隆章 氏

2015年ノーベル物理学賞 受賞

— 概要 —

アインシュタインによる重力波の予言から1世紀経て、重力波が観測され、そのデータを元に宇宙の謎を探る時代になった。重力波を観測するためには極微の空間の伸び縮みを測定する必要があるが、このような観測が可能になったのは、この間の技術の発展によるところが大きい。本講演では、重力波観測を可能にする計測技術などを紹介し、現在我々が進めているKAGRAプロジェクトを紹介し、重力波天文学が解き明かそうとする宇宙の謎を話したい。



KAGRA ©ICRR

■■■ パラレルセッションテーマ ■■■

法定計量

- ①計量計測機器の遠隔モニタリング
- ②OIML R76 (非自動はかり)、R51 (自動捕捉式はかり)
- ③ソフトウェア・セキュリティ

産業計量

- ①画像認識
- ②自動化・省人化
- ③車両重量計測システム

科学計量

- ①再定義されたキログラムの普及
- ②各種天びんの開発
- ③デジタルツイン・デジタル校正証明書
- ④その他（密度計測、ロードセル等）



*パラレルセッション言語は英語です。
通訳はございません。

■■■ ポスターセッション ■■■

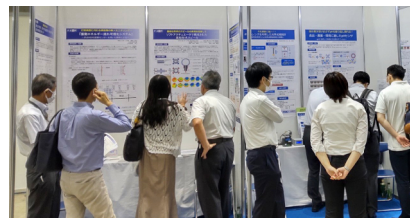
ICW2026では、国内外の大学、研究機関、企業の方を対象に、ポスター発表者を募集中です。計量・計測分野に限らず、研究成果を計量・計測分野でぜひ活用して欲しいという視点での発表も歓迎します。

■ テーマ例

計量計測、デジタル化、AI、サステナビリティ、センサー、自動化等



なお、優れた発表には優秀賞等を授与いたします。
奮ってご参加ください！
詳細は、ウェブサイトをご確認ください。



■■■ テクニカルツアー 6月10日(水) 午後 ■■■

ものづくりのまち・北九州へようこそ！

「ものづくりのまち」として発展してきた北九州は、今では環境未来都市としても注目を集めています。受け継がれてきた技術と、未来へつなげる挑戦。その魅力を、ぜひ現地で体感してください！

テクニカルツアーでは、複数のコースから1つを選んでいただきます。予定しているコースの一部をご紹介します。残りのコースについては、現在実行委員会で調整中です。近日中にウェブサイトでお知らせいたします。



■ トヨタ自動車九州(株) 宮田工場

トヨタ自動車のブランドの1つ「レクサス」の製造ラインのうち、溶接工程及び組立工程を見学します。PR館では、展示や匠の技体験コーナーを通して、同社の自動車製造におけるこだわりについて知ることができます。

■ (株)安川電機

安川電機では、小型産業用ロボットの組立工場と「みらい館」を見学します。組立工場では、ロボットの組み立てラインや自動で行われる試験工程を見学することができます。「みらい館」では、ゲームを体験しながら、産業用ロボットに活用されている最先端技術について楽しく学ぶことができます。



■ 北九州市エコタウンセンター

北九州市では、資源循環型社会の実現を目指すエコタウン事業を推進しています。北九州市エコタウンセンターでは、センター概要とエコタウン事業に参画しているリサイクル事業者の工場等を見学できます。



世界最大級の食品製造総合展

FOOMA 2026
JAPAN FOOD PROCESSING
TECHNOLOGY EXPO 東京ビッグサイト

6/2(火) 5(金) 10:00 ~ 17:00

主催：一般社団法人 日本食品機械工業会
<https://www.foomajapan.jp/>



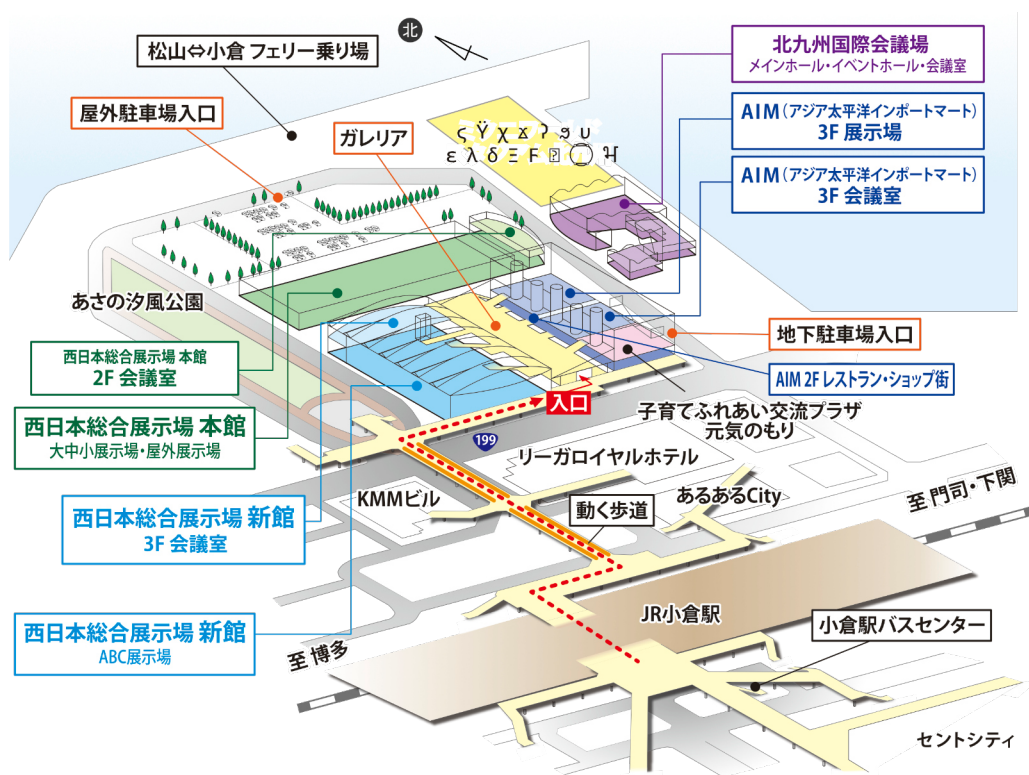
■■■ 会場 ■■■



北九州国際会議場

福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

- ☐ 福岡空港から地下鉄・新幹線で約30分
- ☐ 北九州空港からバスで約45分
- ☐ JR小倉駅から徒歩約10分



■■■ 宿泊 ■■■

宿泊情報は、北九州市観光情報サイトやICWウェブサイトをご覧ください。

■■■ 問い合わせ先 ■■■

ICW2026事務局 一般社団法人日本計量機器工業連合会内
 〒163-0837 東京都新宿区納戸町25-1 日本計量会館2階
 メール icw2026@keikoren.or.jp
 ICW国内向けWebサイト <https://www.keikoren.or.jp/icw2026/>



■■■ 参加登録 ■■■

ICW参加には事前参加登録が必須です。

早期参加登録締切：2026年2月28日

通常参加登録締切：2026年5月22日

参加費は参加形態によって異なります。参加可能なプログラムについては添付資料またはウェブサイトをご確認ください。

	ICW パートナー 機関*	早期登録 2026年2月28日 まで	通常登録 2026年5月22日 まで
一般参加者	会員	77,000 円	88,000 円
	非会員	99,000 円	110,000 円
学生・担当教官		11,000 円	
同伴者		25,000 円	

講演者／モデレーター／ポスター発表者（税込）

	2026年5月22日まで
講演者／モデレータ	無料
ポスター発表者	無料 (ポスターアブストの登録期限は3月末です)
パートナー機関 講演者／モデレータ*	55,000 円

ICWパートナー機関：

CECIP、CWIA、JMIF（計工連）、KASTO、WIAA、REMESP、CAFIPEMの会員企業

講演者・モデレーター・ポスター発表者には参加登録用のキーコードをお送りします。

各参加費には以下が含まれます。

【一般参加者／講演者／モデレーター（ICWパートナー機関会員含む）】

セッション参加、カンファレンスバッグ、昼食、コーヒーブレイク、ウェルカムレセプション、ガラディナー、テクニカルツアー

【学生・担当教官／ポスター発表者】

セッション参加、カンファレンスバッグ、昼食、コーヒーブレイク、ウェルカムレセプション

【同伴者】

ウェルカムレセプション、ガラディナー、観光ツアー（6月8日）、テクニカルツアー（6月10日）

参加登録はこちらから

<https://www.keikoren.or.jp/icw2026/>

